



逆風に抗して奮闘を誓いあった 「九条の会」第6回全国交流討論集会

9月25日、上記の集会が明治大学駿河台キャンパスで開かれ全国から約500人が参加。

全体会では、小森陽一・九条の会事務局長が、「憲法9条を守り生かすのか明文改憲の方向にいくのかが、運動の焦点になっていく。改めて『九条の会』の役割が重要な意味をもつ」と強調。「九条の会」の運動をより発展させていくために12氏からなる世話人会の設置とメンバーを紹介、会場から大きな拍手が送られた。同会呼びかけ人の澤地久枝さん、世話人7人の挨拶、2人のメッセージが寄せられた。午後は、7つの分散会が開かれ、私は第4分散会に参加。事前に戦争法廃止の署名用紙を配布し家庭訪問を行った、日本酒九条を販売しての財政活動、平和カルタの作成、憲法カフェなど工夫をこらした各地の経験が交流された。一方で九条の会や平和に対する逆風も強まっている報告も多く聞かれた。東京都村山市、横浜市、静岡などで中学校の職場体験で、自衛隊に3日間入隊し歩腹訓練や横須賀原潜乗船などが行われている。逗子葉山では、「安倍政治を許さない」と入ったチラシの印刷を拒否された。国分寺祭りに9条の会での出店を断られ、人権擁護委員会で勝訴した。ニュースになったさいたま市の「梅雨空に 九条守れぬ 女性デモ」の俳句が問題と施設拒否になった女性が裁判で闘っている。横浜市教職員退職者九条の会は、戦争を賛美するような記述のある育鵬社版の教科書について中学校12校を訪問し使用されていない。代田九条の会でも今年「憲法記念日によせてのつどい」の公営掲示板のポスター掲示の際、「憲法9条を無傷で子孫に手渡そう」の文言の修正を求められたことを発言。逆風が強くなると自粛し、戦前の二の舞になる危険性があるので、奮闘を誓いあった集会でした。(代田5丁目・小澤 清子)

九条の会・世話人： 愛敬 浩二 浅倉 むつ子 池内 了 池田 香代子 伊藤 千尋 伊藤 真
内橋 克人 清水 雅彦 高遠 菜穂子 高良 鉄美 田中 優子 山内 敏弘

三つの集会

昨年の戦争法の強行採決からはや1年。そこで終わらなかった戦争法に反対する国民の動きは、今も脈々と続いている。

9月9日の世田谷区民集会。約300人が区役所前に集まり、昨年来の安倍政権の暴走ぶりや参院選での野党共同の動きなど、状況を確認しあった後、三軒茶屋駅近くまでパレードを行った。

9月19日、戦争させない・9条を壊すな！総がかり行動実行委員会の提起にこたえて、降りしきる雨の中、約2万3千人が国会前に集まった。民進党、共産党、社民党、生活の党の4野党の代表が挨拶をした。民進党の岡田・前代表は「憲法違反の法律を廃止していくのが国会の仕事だ」、共産党の志位・委員長は「野党と市民の共同をさらに前進させ、安倍政権の暴走を止めよう」などと発言。

折から始まった臨時国会では、参院選を乗り越えた安倍政権が、今年の3月に施行された戦争法に基づき、戦争のできる国づくりへの道を突き進んでいる状況が明らかになってきている。特に、南スーダンにおけるPKO派遣部隊の年内にも予想される交代にあたっての「任務付与」に「いわゆる駆け付け警護」や「いわゆる安全確保業務」などの新任務を与え、戦後初めて日本の「軍」が海外で武力行使を行う危険を増大させている。

10月6日には、こうした状況を踏まえ、「総がかり行動実行委員会」が「戦争法廃止！憲法をいかそう！—さらなる広がり求めて」と題したシンポジウムを開いた。共同代表の福山真劫さんは「取り組み経過と今後の取り組み方針」報告で、「2000万人署名」が1580万筆に達したこと、「野党は共闘」という呼びかけにより、参院選1人区32のすべてで共闘が成立し、11選挙区で勝利したことなどを挙げた。これからの具体的な取り組みとして、①10・19行動、②10・30青森現地集会、③閣議決定日の抗議行動、④沖縄と連帯しての、署名行動と12・10連帯大集会、⑤衆議院選挙への取り組みが提起された。また、中野晃一・上智大教授、ジャーナリストの高野孟氏、渡辺治・一橋大名誉教授によるシンポジウムが行われ、いままでの活動の効果と課題や今後の運動の進め方について、多面的でいろいろと考えさせる話題が提供された。とくに課題を戦争法に限らず、生活と暮し、個人の尊厳という側面にも広げるべきとの指摘は重要と思った。(代田2丁目・伊東 宏)



さようなら原発 さようなら戦争 9.22 大集会

原発推進、憲法改変、戦争法の発動に向かって暴走する安倍政権への抗議と怒りを突きつける集会在9月22日に代々木公園で行われました。激しい雨が降り続くなか、9500人の参加者とともに、傘を高くかざし「原発反対」「戦争法発動反対」とコールしました。

福島原発事故から5年半が経過しましたが、依然として、事故原因の解明も進まず、事故収束の見通しも立てられていません。このようななか、政府は原発再稼働をすすめるため、原発事故は終わったものとし、放射能汚染で避難が必要だった地域に出されていた避難指示の解除を一方向的に進めています。賠償や住宅支援なども一年以内に打ち切られます。

避難を余儀なくされている9万人の方々は、生活や生業の回復への目途も立たないなか、新たな困難や心配に直面している窮状を「ふるさとへは戻りたいが、病院や介護施設、スーパーなどの施設もなく、どうやって生活すればいいのか」、「いまこの国がやろうとしていることは、帰還して被曝を受け入れるか、貧困に陥るか、その選択を私たちに押しつけている」などと訴えました。

「理不尽な原発事故でふるさとを奪い、福島に帰れなくしたのは誰なのかと問いたい」という発言を私たち一人ひとりが受け止め、被災者が生活や生業を取り戻すために、支援と運動をしていきたいと思いました。

集会では、憲法違反の戦争法を根拠にした自衛隊の南スーダンへの派兵反対、辺野古新基地建設、高江へのヘリパッド建設を強行する国の強権、無法への抗議などとともに、安倍政権の暴走を止め、戦争法の発動、改憲阻止のために力を合わせることを確認しました。
(代田2丁目・坂本 功)

集会等の紹介

11月3日(木・文化の日) 午後1時30分～

代田・九条の会 創立8周年記念のつどい

唄と三線：砂原 美文・矢川 汐里さん

講演：金子 勝さん(立正大学名誉教授・世田谷九条の会呼びかけ人)

会場 東京都民教会(代田5丁目) 連絡先 代田・九条の会

憲法公布70周年

11月19日(土) 午後1時30分～

世田谷・九条の会 11周年 講演と音楽のつどい

音楽：親子ばとコーラス

講演：渡辺 治さん(一橋大学名誉教授・九条の会事務局)

会場 三軒茶屋しゃれなあど5F集会室 連絡先 世田谷・九条の会

11月19日(土) 午後2時～

2016秋の講演会 激動する世界と日本の改憲問題

講演1 高橋 宗瑠さん(元 国連人権行動弁務官事務所パレスチナ副事務所長)

「パレスチナ：占領下の人権と「戦争する国」日本

講演2 孫崎 享さん(評論家・元外務省国際情報局長, 元防衛大学校学群長)

「アメリカ大統領選挙後の世界と日本」

会場 明治大学駿河台キャンパスリパティタワー7階1073番教室

連絡先 九条科学者の会 参加費 500円

12月10日(土) 午後

沖縄に連帯する大集会(計画中)

基地の県内移設に反対する県民会議

「止めよう! 辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

会場 日比谷野外音楽堂

「戦争する国」に
させて
たまるか!



お願い: ニュースの原稿を募集しています。

400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

NEWS 94 (2016年9月号)の記事の追記と訂正

8月の集会での、辻さんの記事について以下のように修正・追加します。

奈良女子師範 ⇒ 奈良女子高等師範

父は戦死 ⇒ 父は病死

注) 当時の学制 小学校六年まで義務教育

後、男子は中学校、女子は女学校(五年制)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～